

7/17

第5回温泉シンポジウム in 松江



左から、吉徳 光男副市長(熱海市)、大江 康弘町長(白浜町)、上定市長、溝畑 宏理事長(公益財団法人大阪観光局)、野志 克仁市長(松山市)、阿部 万寿夫副市長(別府市)、ケレケシュ・アンドラーシュ館長(在大阪ハンガリー領事館)、小泉 凡館長(小泉八雲記念館)

日本最古の美肌の湯として知られる玉造温泉を舞台に「第5回温泉シンポジウム in 松江」を開催しました🔥

全国の温泉地の皆さんとともに「温泉地から広がるオープンマインド～多様な文化と人を受け入れる、これからのおもてなし～」について考えました。

ダイアリー

松江まちかど



松江市PRキャラクター
おまっちゃん

7/24

錦織 圭選手の
ラストシーズンを応援！

懸垂幕の前に立つ上定市長(左)と
錦織 圭選手の母・恵理さん(右)



本市出身のプロテニスプレイヤー錦織 圭選手のラストシーズンを応援する懸垂幕(市役所前)と横断幕(市総合体育館前)を掲出しました。

市民一丸となって、錦織選手にエールを送りましょう！

市報松江 8月号掲載記事の訂正

市報松江 8月号の表紙と20ページの掲載内容に一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

表紙 (誤) July
(正) August

20ページ (誤) 松江市 R P キャラクター
(正) 松江市 PR キャラクター

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。
登録はこちら⇒



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

市報 松江

目次

- 02 小学生版ミライソウゾウ会議×防災
- 04 松江まちかどダイアリー
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」／町自連だより
- 06 小泉八雲とセツの面白エピソード／シリーズ松江の文化力×未来
- 07 『松江市生活応援 おまっちゃん お買物券』お早めにご利用ください！／9月20日～26日は動物愛護週間です！
- 08 認知症とともに生きる
- 10 8月27日から電子図書館サービスがはじまります
- 11 中海・宍道湖・大山圏域市長会通信／マイナンバーカード申請の出張受付
- 12 10月1日から水道料金を改定します
- 13 下水道の役割や大切さを理解しましょう！／転居時のごみの出し場所
- 14 「松江市自死予防運動」を実施中です
- 15 あなたと、大切な家族のために「大腸がん検診」を受けましょう／上手に医療機関にかかりましょう
- 16 子育て・健康・福祉
- 18 9月は「るるくる」強化月間です
- 19 情報ひろば
- 26 でかけてごしない～イベント情報～

松江市長 上定 昭仁の

上を向いていこう

Vol.59



こどもたちの提案を カタチに

小学生版ミライ ソウゾウ会議

本市では、松江市総合計画「MATSU DREAMS 2030」のめざす将来像「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」の創造に向けて、若い世代の柔軟な発想を採り入れて地域課題の解決に取り組みようと、令和4年度から「ミライソウゾウ会議」と銘打ったプログラムを開催しています。

これまで4年間、高校生から40歳代まで115名が参加してくださり、熱い議論を交わしていただきました。

さらに、昨年度は「小学生版ミライソウゾウ会議」を初めて実施して、市立鹿島東小学校5年生のみなさんが「防災」をテーマに、地域での取材や調べ学習を重ねました。その成果として、今年1月30日に市長以下市職員の前で、アンケートや統計データによる根拠を踏まえた、防災力強化のための具体的なアイデアを提案してくださいました。

「遊びながら防災を学ぶ」というコンセプトの下、「防災カフェ」や「ウォーキングイベント」の開催、防災意識が自然に身につく歌・ダンスの創作、乾

パンを使ったクッキー・ラスクの製造、防災ゲームの制作など、こどもたちの斬新な発想が光りました。

次の世代を担うこどもたちが、本市で生まれ育ったことに愛着や誇りを持ち、豊かな想像力とチャレンジ精神を育み、それを存分に発揮できるまちへと進化していくことを改めて決意する機会になりました。

「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」を、市民一丸となつて創り上げてまいりましょう！

※小学生版ミライソウゾウ会議について、詳しくは本誌2、3ページをご覧ください。



〈1月30日の最終発表会の様子〉

町自連だより

地域づくりの宝探し

宍道地区自治会連合会

会長 三島 良信

世話役を仰せつかりました。地域の皆さんの負託に応え、努力してまいります。コロナ感染症の予防対応で各種活動が自粛されていた生活などが、いまだにダメージを受けたままで元に戻りません。

当時、宍道町では自治会の実態調査をされ、①女性や若者の自治会活動への参画の重要性②災害に備えた防災訓練の実施③地域福祉の充実④交通弱者への対応など、調査結果をまとめられています。

宍道地区自治会連合会では、町内8地域代表の理事を中心に、48自治会へ情報などを通して進めていただいています。自治会はどこも同じと思いますが、歴史と慣例はありますので、簡単にはいかない部分はあると思います。ご意見・要望は多種多様ですが、単位自治会が基です。本年度は、理事を中心に自治会長と懇談される機会があれば、三役も出かけ地域の自治会の空気を感じさせていただければと企画しています。

理事・自治会長、ご多忙中ですがご理解をいただきお願いをさせていただきます。



「令和7年度宍道地域防災フォーラム」の様子

小泉八雲とセツの面白エピソード その12

～八雲とセツのちょっとしたエピソードをご紹介します～

セツの最後の里帰り

セツには忌み嫌う呼称が2つありました。幼い頃の「もらい
こ
児」、八雲と出逢ってから「洋妾^{らしゃめん}」です。洋妾は外国人に仕
える日本人女性を意味する当時の蔑称ですが、これを八雲も嫌
いました。熊本時代、夫婦は隠岐の島の士族の息子を預かって
いましたが、その子が「洋妾の唄」を歌ったのを知った八雲は、
すぐに隠岐の島に送り帰したほどです。セツはこれらの心ない
言葉に、どれほど傷付けられたことでしょう。八雲が亡くなっ
てからの27年間、故郷松江に帰省したのは56歳のとき（大正
13年）、1度きりでした。



小泉八雲熊本旧居



小泉八雲とセツに関する出前講座の申込受付中。詳しくはこちら▶

シリーズ「松江の文化力×未来」

松江の文化力の次世代を担う人を紹介します！

Vol.27



くらち みゆ
倉地 みゆ

松江市出身。現在、松江農林
高等学校教諭。佐陀神能保存
会として活動12年目。

【ユネスコ無形文化遺産
登録15周年記念公演
—神座(かむくら)—】
9年3月7日開催(予定)

佐陀神能は、鹿島町にある佐太神
社の例祭で奉納される、400年以
上の歴史を持つ神事芸能で、ユネス
コ無形文化遺産にも登録されていま
す。
私自身は鹿島町出身ではありません
が、中学生の時に地元の神社のお
祭りで、佐陀神能保存会による奉納
演舞を見たことをきっかけに、佐陀
神能に興味を持ちました。
小学生の頃、学校行事を通して市
の伝統文化である「鬘行列」に触れ、
地域に受け継がれる伝統文化に関心
を持ったことも、佐陀神能に惹かれ
た理由の一つです。そのお祭りで、
保存会の方から「一緒にやってみな
いか」と声をかけていただき、その
言葉を頼りに一人で佐太神社の練習
会へ参加しました。
当時は、現在の「子ども佐陀神能
教室」のような指導の場はなく、大
人に交じって稽古を受けていました
が「見て学べ」スタイルの指導に大
変苦戦しました(笑)。また、佐陀
神能の演目は多く、今でも学ぶこと
ばかりです。笛や鼓は素材や奏法に
よって音色が変わる上、演奏者同士
で息を合わせる難しさがあります。
舞、謡(うたい)や物語の理解、登
場人物の心情表現が求められる奥深
い世界です。日々の稽古の積み重ね



演舞の様子 演目：八重垣
(左から2番目が倉地さん)

が、見る人の心に届け舞や演奏につ
ながると信じ、これからも稽古を続
けていきたいと思っています。
現在は自身の稽古に励む傍ら、子
ども佐陀神能教室での指導にも携
わっています。私自身が保存会の
方々から受け継いだように、この伝
統を次の世代へ繋ぐことが私の使命
だと思います。いつの日か、指導し
ていることもたちと一緒に舞台上に立
ち、演舞する姿を皆さまにお披露目
したいです。
今後も、伝統を大切にしながら新
たな発信にも取り組み、多くの方に
佐陀神能を知っていただけるよう活
動を続けていきます。